

令和4年度 事業評価表 総合評価

連番	課名	基本目標	主要課題	施策	頁	事業名	事業概要	令和5年度実施計画	令和4年度実施計画	令和4年度取組結果及び成果・課題等	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・ 問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
1	職員課	I	1	1	10	①ワーク・ライフ・バランスの普及促進	ワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、多様な働き方を選択できるテレワーク（在宅勤務）や時差出勤制度の利用促進に努めます。 また、年次有給休暇の取得促進に努めます。	引き続き、テレワーク（在宅勤務）や時差出勤制度の制度周知を行うとともに、利用促進を図ります。 特に、時差出勤制度について、有効活用されるよう法整備を行い利用促進に努めます。	テレワーク（在宅勤務）や時差出勤制度の制度周知を行うとともに、利用促進を図ります。 また、年次有給休暇の取得促進について実施します。	テレワークや時差出勤制度については感染症対策の一環として制度が周知され、利用促進を行いました。また、年次有給休暇の取得促進については夏季休暇と併せて取得促進を実施しました。	B	今後も制度の利用や休暇の取得が行いやすい環境づくりに努めます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
2	職員課	I	1	1	10	②育児休業の取得促進、普及・啓発	育児休業や出産、育児に関する休暇制度の周知を図るとともに、取得しやすい職場環境づくりに努めます。	育児休業に関するアンケートを実施し、制度の理解度を図るとともに取得に際し、課題となっている事項を整理して育児に参加しやすい職場環境の醸成を図ります。	育児休業や出産に伴う特別休暇制度や各種申請手続き等をまとめた「職員のための子育て応援ガイド」を作成します。また、育児休業等の休暇制度を庁内に広く周知し、育児に参加しやすい職場環境の醸成を図ります。	「職員のための子育て応援ガイド」を作成し、庁内に広く周知しました。男性の育児休業取得者も増加しています。	B	今後も、育児休業に参加しやすい職場環境の醸成に努めます。	A	当初の目的は達成していると考えられるのでA評価とする。	A	2次評価を踏まえて取り組むこと。
5	農林水産課	I	1	2	11	②女性の能力開発と経営参画の促進、各種セミナーの開催	県が主催する女性向けの各種セミナー等への参加を促すとともに、農山漁村男女共同参画フォーラムへの参加を募り、経営への参画を推進するとともに、農業関係機関と連携を図りながら、家族経営協定や認定農業者制度の周知・普及に努め、女性認定農業者の認定を推進します。 また、フォーラムの開催を通じて、男女共同参画の必要性・重要性についての理解が深まるようなテーマの設定に努めるとともに、周知や集客方法については、チラシ等の配付のほか、市ホームページ等を活用し、多様な手段での周知・集客の増加を目指します。	農業委員会事務局、君津農業事務所及びJA木更津市との連携を密にして、情報を交換しながら認定農業者制度の周知を図り、女性認定農業者の認定を促進します。 また、家族経営協定の周知、女性向けのセミナーへの参加を促進し、家族経営協定の締結を推進します。	農山漁村男女共同参画フォーラムについて、オンラインを活用しながら会議や講演を年1回以上開催します。 また、周知や集客方法については、チラシ等の配付のほか、市ホームページ等を活用し、多様な手段での開催の周知・集客の増加を図ります。	農業委員会事務局及び君津農業事務所と連携して、家族経営協定の周知を図り、セミナーへの参加を促進し、家族経営協定の締結を推進したことにより、令和4年度においては、新規で家族経営協定を2件締結しました。	B	今後も、関係機関と連携しながら、家族経営協定の締結、女性認定農業者の認定を促進につとめてまいります。	B	農山漁村男女共同参画フォーラムが未実施であることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
6	職員課	I	1	3	11	①職場におけるメンタルヘルス等健康管理の実施	健康診断、健康相談、健康教育の実施により、健康障害を未然に予防し、疾病による休業率の減少を促進します。また、作業環境管理として快適な職場環境を確保すること、衛生管理として長時間労働対策等により、職員の健康保持増進を図ります。	心療内科医によるメンタル関連研修会または相談事業、安全衛生関連研修会及び衛生管理者資格取得のための研修派遣、ケースワーカー・消防職員を対象としたB型肝炎予防接種、職員の定期健康診断の実施及び消防職員で交代勤務をしている職員への深夜業従事者健診、改正労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施します。また、「メンタルヘルス相談事業」を実施します。	心療内科医によるメンタル関連研修会または相談事業、安全衛生関連研修会及び衛生管理者資格取得のための研修派遣、ケースワーカー・消防職員を対象としたB型肝炎予防接種、職員の定期健康診断の実施及び消防職員で交代勤務をしている職員への深夜業従事者健診、改正労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施します。	心療内科医によるメンタル関連相談事業、安全衛生関連研修会及び衛生管理者資格取得のための研修派遣、ケースワーカー・消防職員を対象としたB型肝炎予防接種、職員の定期健康診断の実施及び消防職員で交代勤務をしている職員への深夜業従事者健診、改正労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施しました。	B	今後も職員の健康保持増進を図ります。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。

令和4年度 事業評価表 総合評価

連番	課名	基本目標	主要課題	施策	頁	事業名	事業概要	令和5年度実施計画	令和4年度実施計画	令和4年度取組結果及び成果・課題等	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・ 問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
7	福祉相談課	I	1	3	11	①職場におけるメンタルヘルス等健康管理の実施	関係事業者との連携により、就業者のメンタルヘルス等健康管理に関する相談に対応します。	困窮者相談を実施する中で、就労支援事業を活用して、要配慮者に対応した事業者等に繋ぎ、就労の機会が得られるよう努めます。	配慮を要する人が働く機会を得られるよう無料職業紹介を活用しながら協力事業者との連携を推進します。	困窮者相談を実施する中で、就労支援事業を活用して、要配慮者に対応した事業者等に繋ぎ、就労の機会を得られるよう努めました。	B	就労支援事業に繋ぐことはできませんでしたが、就労の結果は得られていません。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
12	職員課	I	1	5	12	②テレワークの推進	全職員が、業務を効率的に取り組むことや、多様な働き方の一つであるテレワークの実施が、自身のワークライフバランスの確保に寄与することを認識するよう、意識の醸成を図ります。また、USBドングルを使用したテレワークの実施状況を把握し、配布するドングルの数や通信容量について継続的に関係課（総務課、職員課）と協議を重ね、より使用しやすい環境の構築に努めます。	令和4年度に実施した職員アンケートを元に課題の洗い出しと整理を行います。その後、事例研究とともに施策に取り入れ、職員への周知を図ります。	事務事業の再点検を実施し、改めてテレワークでも実施可能な業務を抽出することにより、さらなる全庁的なテレワークの推進を図ります。	令和4年12月から令和5年1月にかけて職員アンケートを実施しました。なお、アンケート結果については令和5年3月に公表したところです。この結果を元に、課題の洗い出しと整理を行っていく必要があると考えます。	B	テレワークを行うためのシステム環境が整い、利用方法は浸透してまいりましたが、活用拡充のための周知等の施策を考える必要があると考えます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
14	介護保険課	I	2	1	14	①仕事と育児・介護の両立のための啓発、相談窓口の利用促進	介護保険パンフレットや市の広報誌、ホームページの活用を積極的に活用し、介護保険制度の周知、利用促進等を図ります。また、地域包括支援センターの周知や機能強化を図り、地域福祉を進めます。	令和5年度中に窓口及び公民館等で介護保険のパンフレットの周知を徹底するとともに、地域包括支援センター等の相談窓口への周知、案内を進めます。	令和4年度中に窓口及び公民館等で介護保険のパンフレットの周知を徹底するとともに、地域包括支援センター等の相談窓口への周知、案内を進めます。	窓口及び公民館等に介護保険のパンフレットを設置し周知を図るとともに、地域包括支援センター等の相談窓口への周知、案内を進めました。	B	今後もパンフレット等を活用した制度周知、窓口での周知・案内を図るよう努めていきます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
16	こども保育課	I	2	1	14	②保育・介護のための体制整備、待機児童の解消	保育及び学童保育の待機児童解消のため、施設整備や人材確保に対する支援をします。	市内の保育施設に従事する人材を確保するため、引き続き、保育士資格の取得を目指す学生に対して修学資金の貸付を行います。また、民間保育園における保育士の処遇の改善のため賃金上乘せ措置を行います。学童保育については、引き続き、児童の健全育成のための補助金を交付します。	市内の保育施設に従事する人材を確保するため、保育士資格の取得を目指す学生に対して修学資金の貸付を行います。学童保育については、引き続き、児童の健全育成のための補助金を交付します。	保育士資格の取得を目指す学生に対して修学資金の貸付制度を創設し、市内の保育施設に従事する人材の確保に努めました。本貸付制度による保育士確保の効果は、即時的に表れるものではないため、継続して実施してまいります。また、共働き家庭等の児童の居場所となる放課後児童クラブの運営に対し補助を行い、児童の健全育成を図りました。	B	保育及び学童保育の待機児童解消には至っていないため、引き続き、施設整備や人材確保に対する支援をします。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
17	介護保険課	I	2	1	14	②保育・介護のための体制整備、待機児童の解消	施設入所を希望する人の早期入所及び家族介護者の負担軽減のため、計画的に施設を整備します。	今年度策定を予定している第9期介護保険事業計画において、令和6年度以降の施設整備の方向性を検証し、計画的な施設整備を位置付けます。	令和4年度中に整備が予定されている特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホームの開設が円滑に進むよう、各種手続を進めます。	令和4年8月に特別養護老人ホームが開設し、認知症高齢者グループホームは若干の遅れはあったものの、令和5年5月に開設したところです。	B	今後も引き続き計画的な施設整備に努めていきます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。

令和4年度 事業評価表 総合評価

連番	課名	基本目標	主要課題	施策	頁	事業名	事業概要	令和5年度実施計画	令和4年度実施計画	令和4年度取組結果及び成果・課題等	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・ 問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
19	高齢者福祉課	I	2	2	14	①家事、育児、介護等への男性の参加促進のための啓発	在宅で介護する家族の身体的・精神的負担の軽減に向け、家族介護者への支援を行い、男性も含む介護への参加促進のための啓発に努めます。	高齢者を介護する家族を対象に、医療・介護専門職等による介護知識・技術を学ぶ家族介護教室を、年8回程度開催します。 また、認知症の高齢者を介護する家族を対象に、介護者同士の悩み・疑問の共有や、認知症専門医等との意見交換により介護者相互の交流を行う認知症家族交流会を、年3回程度開催します。	高齢者を介護する家族を対象に、医療・介護専門職等による介護知識・技術を学ぶ家族介護教室を、年8回程度開催します。 また、認知症の高齢者を介護する家族を対象に、介護者同士の悩み・疑問の共有や、認知症専門医等との意見交換により介護者相互の交流を行う認知症家族交流会を、年3回程度開催します。	高齢者を介護する家族を対象に、医療・介護専門職等による介護知識・技術を学ぶ家族介護教室を、年3回開催しましたが、参加者が少ないことが課題です。 また、認知症の高齢者を介護する家族を対象に、介護者同士の悩み・疑問の共有や、認知症専門医等との意見交換により介護者相互の交流を行う認知症家族交流会を、年3回程度開催しました。	B	家族介護教室について、参加者増加のため、周知方法を工夫したり関係機関との連携を進めるよう努めます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
21	公民館	I	2	3	14	①地域活動、ボランティア活動などへの参加促進	公民館ボランティア活動を促進します。	主催事業を通して参加した受講者へのサークル化への自立を促し、サークル活動から地域参画への積極的なボランティア活動へ繋げていきます。	市内全公民館で、地域課題の一つである健康に関する事業に取り組む、継続的学習を行う中で、男女の区別なく地域活動に積極的に取り組む人材を育成します。	R2年度から続くコロナ感染症により健康（特に予防）への意識・関心が高まり、男女ともに自主的な感染対策への意識は高まりました。	B	結果的には男女共に、健康への関心から積極的に自ら学習をし、知識共有をしました。 ただ、通常の健康課題と違い「未知のウィルス」への関心のため、公民館として主催として取上げる事が	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を取り組むこと。
22	生涯学習課	I	2	3	14	①地域活動、ボランティア活動などへの参加促進	各種団体の代表者として、性別にとらわれず、有能な人物を代表者として選出できる社会教育施策を推進します。 地域で活動する男性（特に父親）が社会教育施設や地域行事に積極的に参加できるような体制づくりに取り組みます。	社会教育関係団体、機関の代表者の人選について、性別にとられない選出に努めます。また、地域活動において、性別による無意識の思い込みがないよう働きかけに努めます。	保育ボランティアグループの活動に協力するとともに、利用機関との話し合いの場を提供し、連携を図ります。 関係団体、機関の代表者の人選について、性別にとられないよう働きかけを行います。	家庭教育学級担当者会議で、保育ボランティアグループ「こあらの会」が利用機関への説明を行う機会を設けました。 各種団体の代表者として、性別にとらわれず、有能な人材が代表者として選出できるようにしました。 また、地域活動への参加、学習機会を求めている男性に対して、常時情報伝達に努めました。	B	今後も、性別にとられない活動ができるよう努めるとともに、必要に応じた情報の提供に努めます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
26	生涯学習課	I	2	3	14	②公民館事業や市民活動事業の推進、地域づくり人材の発掘	市民活動の充実を図るため、生涯学習フェスティバル等実行委員会を組織し、フェスティバルを年1回開催します。 地域づくりを担うキーパーソンとなり得る人材の発掘及び育成を図ります。	地域づくりを担うキーパーソンの発掘及び育成に努め、市民活動の充実を図るための支援を随時行ないます。	生涯学習フェスティバル実行委員会を組織し、市民活動の充実を図るため、フェスティバルを年1回開催します。	令和4年度はフェスティバルに代わって「若者語り場」を実施し、地域づくりを担うキーパーソンの発掘及び育成に努めました。 男性及び女性の参加があり、市民活動の充実にご寄与することができました。	B	地域づくりについて語り合うことを大事にし、活動しやすい環境づくりに努めます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。

令和4年度 事業評価表 総合評価

連番	課名	基本目標	主要課題	施策	頁	事業名	事業概要	令和5年度実施計画	令和4年度実施計画	令和4年度取組結果及び成果・課題等	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・ 問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
28	各課	I	3	1	16	①審議会等における女性委員の積極的登用、公募の実施	女性の意見を政策や方針に反映させる必要があることから「附属機関等の委員の選任等指針」に基づく委員選出の促進を図り、審議会等における女性委員の構成比を高めるため、審議会等委員の公募を実施します。	女性の意見を政策や方針に反映させる必要があることから「附属機関等の委員の選任等指針」に基づく委員選出の促進を図り、審議会等における女性委員の構成比を高めるため、審議会等委員の公募を実施します。	女性委員を委嘱している審議会の増加を図るため、審議会等委員の公募を実施します。進行管理では、公募の実施可能な審議会と公募がなじまない審議会を区別し、分かりやすい実施状況の見せ方に取り組みます。	女性委員を委嘱している審議会の増加を図るため、審議会等委員の公募を実施しました。進行管理では、公募の実施可能な審議会と公募がなじまない審議会を区別し、分かりやすい実施状況の見せ方に取り組みました。	B	引き続き改善に努めます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
30	地域共生推進課	I	3	1	16	③企業、団体、学校における女性の管理職登用への働きかけ	男女共同参画に関する研修会・講習会等で、女性の管理職登用についての働きかけを行います。	研修会・講習会等で、民間企業・団体等における女性の積極的な登用が促進されるように、チラシやポスターの掲示、男女共同参画参画情報紙への啓発記事の掲載等により、女性登用促進を働きかけます。	研修会・講習会等で、民間企業・団体等における女性の積極的な登用が促進されるように、チラシやポスターの掲示、男女共同参画参画情報紙への啓発記事の掲載等により、女性登用促進を働きかけます。	研修会・講習会等で、民間企業・団体等における女性の積極的な登用が促進されるように、チラシの配布やポスターの掲示、男女共同参画参画情報紙への啓発記事の掲載等により、女性登用促進を働きかけました。	B	引き続き働きかけを継続します。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
32	職員課	I	3	2	16	①女性の能力開発につながる研修等への参加促進	女性の能力が十分に発揮されるよう、千葉県自治研修センターや市町村アカデミー等の研修専門機関が実施する研修について周知を図ります。	引き続き、女性の能力が十分に発揮されるよう、千葉県自治研修センターや市町村アカデミー等の研修専門機関が実施する研修について周知を図ります。	女性の能力が十分に発揮されるよう、千葉県自治研修センターや市町村アカデミー等の研修専門機関が実施する研修について周知を図ります。	千葉県自治研修センターや市町村アカデミーが実施する研修の周知を図りました。	B	更なる周知が必要です。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
33	地域共生推進課	I	3	2	16	②女性の能力開発につながる情報発信	広報紙や市ホームページ、SNSなどさまざまな媒体を活用し、女性の能力開発につながる情報発信を行います。	市ホームページの男女共同参画ページの構成を見直し、ポータルページを作成した上で女性活躍推進を取り扱うページを新設します。	市ホームページの男女共同参画ページの構成を見直し、ポータルページを作成した上で女性活躍推進を取り扱うページを新設します。	市ホームページの男女共同参画ページの構成を見直し、ポータルページを作成し、女性活躍推進を取り扱うページの新設を検討しました。	B	引き続き検討を行います。	B	女性活躍推進を取り扱うページ新設について、検討にとどまっていることからB評価とする。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
38	福祉相談課	II	4	1	18	②DVや高齢者・障がい者・児童虐待の相談に対する連携の強化	アウトリーチ等により初期相談の役割を担い、専門機関への適切な繋ぎを行います。	アウトリーチによる初期相談のほか、対象者への支援にあたり生活困窮者支援調整会議を活用することで、専門機関と連携して課題解決に努めます。	生活困窮者支援調整会議を活用し、多分野の連携を推進します。	コロナ禍において、支援調整会議が開催できなかったことから、アウトリーチによる初期相談から専門機関へ直接繋ぐことに努め、課題解決を図るとともに、専門機関との連携強化を図ることができました。	B	支援調整会議を開催できず、同会議を活用した専門機関との連携強化とはなっていません。しかしながら、直接、同機関に繋ぐことにより一定の効果はあったと考えます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。

令和4年度 事業評価表 総合評価

連番	課名	基本目標	主要課題	施策	頁	事業名	事業概要	令和5年度実施計画	令和4年度実施計画	令和4年度取組結果 及び成果・課題等	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・ 問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
41	職員課	II	4	2	18	①性にかかわる人権侵害防止についての啓発	庁内における性に係る人権侵害の把握に努め、職員の啓発に努めるとともに関係各部署との連携に努めます。	引き続き職員のプライバシーに配慮しつつ、公益通報等人権侵害に対する相談体制の周知に努めます	職員のプライバシーに配慮しつつ、公益通報等人権侵害に対する相談体制の周知に努めます	引き続き、職員のプライバシーに配慮しつつ、公益通報等人権侵害に対する相談体制の周知に努めました。	B	相談体制の更なる周知が必要です。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
47	福祉相談課	II	5	1	20	②経済的困難を抱えるひとり親家庭に対する自立支援の推進	家事や育児などアンパイドワークを尊重した個別支援を推進します。	個々の事情・条件にあわせた職種を検討し、働く機会を得るための支援に努めます。	配慮を要する人が働く機会を得られるよう無料職業紹介を活用しながら協力事業者との連携を推進します。	求職活動を行うも条件の厳しいひとり親世帯に寄り沿った支援を行うなど、要支援者の状況を確認し、条件にあった就労に向けて、公共職業安定所や協力事業者に繋ぎました。	B	引き続き、要支援者に寄り沿った支援を行います。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
67	危機管理課	II	7	1	24	①女性の視点を取り入れた避難所等の運営	避難所における女性等への配慮等を盛り込んだ避難所運営マニュアルの作成を支援します。	地域の実情と女性への配慮も考慮した避難所運営を行うため、女性を含む公民館や地域住民（自治会、自主防災組織、民生委員、地区社会福祉協議会及びまちづくり協議会等）が一体となって避難所運営マニュアルの作成を支援します。また、地域が主催する訓練等で避難所運営マニュアル作成の一助となるよう、他の事例を紹介する等実施してまいります。	地域の実情と女性への配慮も考慮した避難所運営を行うため、女性を含む公民館や地域住民（自治会、自主防災組織、民生委員、地区社会福祉協議会及びまちづくり協議会等）が一体となって避難所運営マニュアルの作成を支援します。	避難所別の避難所運営マニュアルの作成に向け、各まちづくり協議会等と意見交換を行いながら、避難所運営マニュアルを新たに1件作成いたしました。	B	前年度、避難所に追加された清和大学を筆頭に、災害発生時にスムーズな避難所運営が可能なよう、今後も地域主体の避難所運営マニュアルの作成支援を行ってまいります。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
73	職員課	III	8	1	26	②男女共同参画に関するセミナーや研修の開催	施策担当部署と連携し、市職員に対する研修会の開催を検討します。	今後も施策担当部署と連携し、より充実した職員研修等を実施します。	施策担当部署と連携し、市職員に対する研修会の開催を検討します。	新規採用職員に向けて研修を実施しましたが、今後は全職員に向けての研修の実施が課題です。	B	全職員に向けての実施が課題です。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
76	地域共生推進課	III	8	2	26	③各種団体等のあり方や名称の見直しの検討	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討します。また、全国の事例などを調査し、庁内各課へ情報提供を行います。	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討します。また、全国の事例などを調査し、庁内各課へ情報提供を行います。	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討します。また、全国の事例などを調査し、庁内各課へ情報提供を行います。	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討しました。	B	引き続き調査を継続します。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
77	各課	III	8	2	26	③各種団体等のあり方や名称の見直しの検討	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討します。	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討します。	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討します。	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討しました。	B	引き続き改善に努めます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。

令和4年度 事業評価表 総合評価

連番	課名	基本目標	主要課題	施策	頁	事業名	事業概要	令和5年度実施計画	令和4年度実施計画	令和4年度取組結果及び成果・課題等	1次評価	1次評価の理由 事業実施上の課題・ 問題点・改善等	2次評価	2次評価記載事項案	総合評価	改善策等の提言
81	生涯学習課	Ⅲ	9	1	28	③男女共同参画の視点に立った講座等の開催	公民館と連携し、公民館で開催されている学習プログラムを開発するとともに、既存の学級講座を見直し、男女共同参画に関するテーマを積極的に取り入れます。各公民館等社会教育施設で開催する各種学級・講座の保育活動を実施し、子育て中の保護者が安心して学ぶことができる環境を整えます。	各公民館等社会教育施設に、性別関係なく参加できるような環境の整備に努めるとともに、学習内容についても「性別による無意識の思い込み」がないよう配慮することを求めます。	各公民館に、「男女共同参画」について学習できるメニューを取り入れるよう働きかけます。	家庭教育学級の参加対象を、母親（女性）だけでなく、父親も参加できるような環境を整え、それが特別なではなく、日常となるよう働きかけました。学習内容としても、母親・父親だけの役割を考えるわけではなく、保護者としてのあり方を学ぶ機会を充実させました。	B	公民館等社会教育施設の主催事業において、男女共同の視点にたった学習内容を設定するよう働きかけます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
83	生涯学習課	Ⅲ	9	1	28	④家庭や地域における男女共同参画教育の推進	市内各家庭教育学級において、運営組織の充実を図るため学級のリーダー養成に努めるとともに、運営スタッフの研修活動を充実させます。子育て支援の充実を目指し、子育ての悩みや疑問の解決を図るため、家庭教育のあり方について、広報等の啓発活動を推進します。	家庭教育学級の担当者、学級生を対象とした研修を積極的に開催し、内容の充実にも努めます。また、家庭教育の推進のため、家庭教育に関する団体・機関が一堂に会して協議できる場の設定に努め、共通認識を深められるよう努めます。	家庭教育学級の担当者、学級生を対象とした研修会を開催します。家庭教育推進協議会を開催し、家庭教育支援に係わる情報交換を行います。	家庭教育学級担当者会議、家庭教育学級交流会、家庭教育学級研究会を開催し、各公民館で開催している家庭教育学級の学習内容についてより充実したものになるよう情報交換をし研鑽を重ねました。	B	公民館主催事業「家庭教育学級」の担当者会議等を通じて学級の内容を充実するための研鑽に努めます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
85	学校教育課	Ⅲ	9	1	28	④家庭や地域における男女共同参画教育の推進	全教育活動を通じた男女共同参画に関する教育の実施について、保護者及び地域に理解を得るとともに、男女共同参画を図ります。	教育活動に関する広報活動のさらなる推進を通じ、地域に開かれた学校づくりに努めます。教育活動に地域および保護者の協力を求め、同時に地域作りに学校が積極的に参加するなかで、男女共同参画を図ります。	教育現場における、PTA役員、学校評議員、学校支援ボランティア等の活動を通して、男女共同参画の機会の促進を図ります。各学校でのボランティア活動等を、学校ホームページや広報紙、動画配信サービス等を利用し、保護者及び地域へ啓発することを広げることにも努めます。	PTA役員、学校評議員、学校支援ボランティア等の活動における男女共同参画は一定の成果をあげることができました。また、情報発信による啓発活動も、学校ホームページを中心に、定着しつつあります。今後は、情報発信をする側のさらなる意識の向上に取り組んでいきます。	B	男女共同参画の新たな機会の創出に努めます。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。
88	職員課	Ⅳ	10	2	30	①男女共同参画施策担当部署との連携、庁内研修の実施	施策担当部署と連携した事業（職員研修等）を推進します。	今後も施策担当部署と連携し、より充実した職員研修等を実施し、市職員に対する男女共同参画の周知・啓発を図ります。	様々な媒体を活用し柔軟な対応を行い、市職員に対する男女共同参画の周知・啓発を図ります。	新規採用職員に向けて研修を実施しましたが、今後は全職員に向けての研修の実施が課題です。	B	全職員に向けての実施が課題です。	B	実施可能な範囲で活動を行っていることからB評価とする。	B	今後は具体的な数値等を用いて目標を設定し取り組むこと。
90	地域共生推進課	Ⅳ	10	2	30	②市民・団体・企業などとの連携	男女共同参画推進委員会において、市民、団体、企業等の代表と情報交換を行います。また、包括連携協定を締結した企業や団体との共催事業の開催について検討します。	令和5年7月に木更津市男女共同参画推進委員の委嘱期間が新たに開始されることに合わせて、今後の委員会及び計画の方向性について意見交換を行います。	令和4年11月に木更津市男女共同参画推進委員の委嘱期間が満了することから、委員を構成する企業や団体について改めて検討します。また、委員会に関して各委員からの意見の聞き取りを目的としたアンケートを実施します。	令和4年11月に木更津市男女共同参画推進委員の委嘱期間が満了することから、委員を構成する企業や団体について改めて検討し、委嘱期間についても開始時期を従来通りの7月からに変更を行いました。	B	アンケートの実施等、改善に努めます。	B	アンケートが未実施であることからB評価とする。	B	2次評価を踏まえて取り組むこと。